

I 学校の概要

思考力等の育成モデル校事業

さぬき市立石田小学校

◆児童数及び教員数

○児童数

第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年	特別支援	全校
1学級 29名	1学級 26名	1学級 29名	2学級 40名	1学級 26名	2学級 37名	2学級 5名	10学級 192名

○教員数 14名

◆学校の特徴

本校は、緑豊かな田園地帯にあり、地域の人々の教育に対する関心も高く、児童は諸活動において素直でまじめに取り組んでいる。めざす児童像として、「**①**つも元気」「**②**っかり勉強」「**③**れにでもあいさつ」を掲げ、自ら目標をもてるようにして実践している。

これまで、「国語力向上モデル校」、「学習習慣形成モデル校」「思考力等の育成モデル校（H25年度）」「心の交流事業」などの研究指定を受け、基礎的な言語能力を高め論理的思考力を伸ばすとともに、学校や家庭における望ましい学習習慣の形成に取り組んできた。さらに、論理的思考力の育成を図り、6つの関係づける力（順序をたどる力、比較する力、原因や理由を求める力、類別する力、定義づける力、推理する力）を、教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動などにおいて活用できる児童の育成について実践を進めている。

II 研究主題等

研究主題

自ら問いかける児童の育成

～「伝える力」の伸長、「聴く力」の充実をめざして～

◆研究主題設定の理由

本校は、これまで基礎的な言語能力を高め、論理的思考力を伸ばすとともに、学校や家庭における望ましい学習習慣の形成を目指して実践してきた。その結果、学習規律の定着状況が向上して挙手発表が活発になり、家庭学習に進んで取り組む児童も増加してきている。

しかし、昨年度の児童による自己評価では、「比較する力」や「原因や理由を求める力」を中核とした思考活動や意見発表、話し合い活動などに関する評価がやや低く、課題となった。また社会的要請からも、情報を素早く正確に判断・処理したり、自分の主張を的確にまとめて発信したりする能力を高める必要がある。

そこで、「伝える力」の伸長及び「聴く力」の充実をめざして思考力や自己有用感を高め、「自ら問いかける児童」を育成することを目標に、本主題を設定した。

◆研究内容及び方法

研究主題に基づき以下の4点に重点を置き、研究を進める。

- ① 「考えを表現する力」の充実を図る。
- ② 思考プロセスを支えるノート作り（思考のツールとしてのメモ、定着のための記録）を推進する。
- ③ 「聴く力」を向上させ、話し合い活動の充実を図る。
- ④ 活動内容に応じた学習集団（小集団）の設定と支援のあり方を追究する。

◆研究の全体構想

学校教育目標
心豊かで、心身共にたくましく、自ら学ぶ子どもの育成

(1) めざす児童像から

㊦ いつも元気

㊧ しっかり勉強

㊨ だれにでもあいさつ

研究主題
自ら問いかける児童の育成
～「伝える力」の伸長、「聴く力」の充実をめざして～

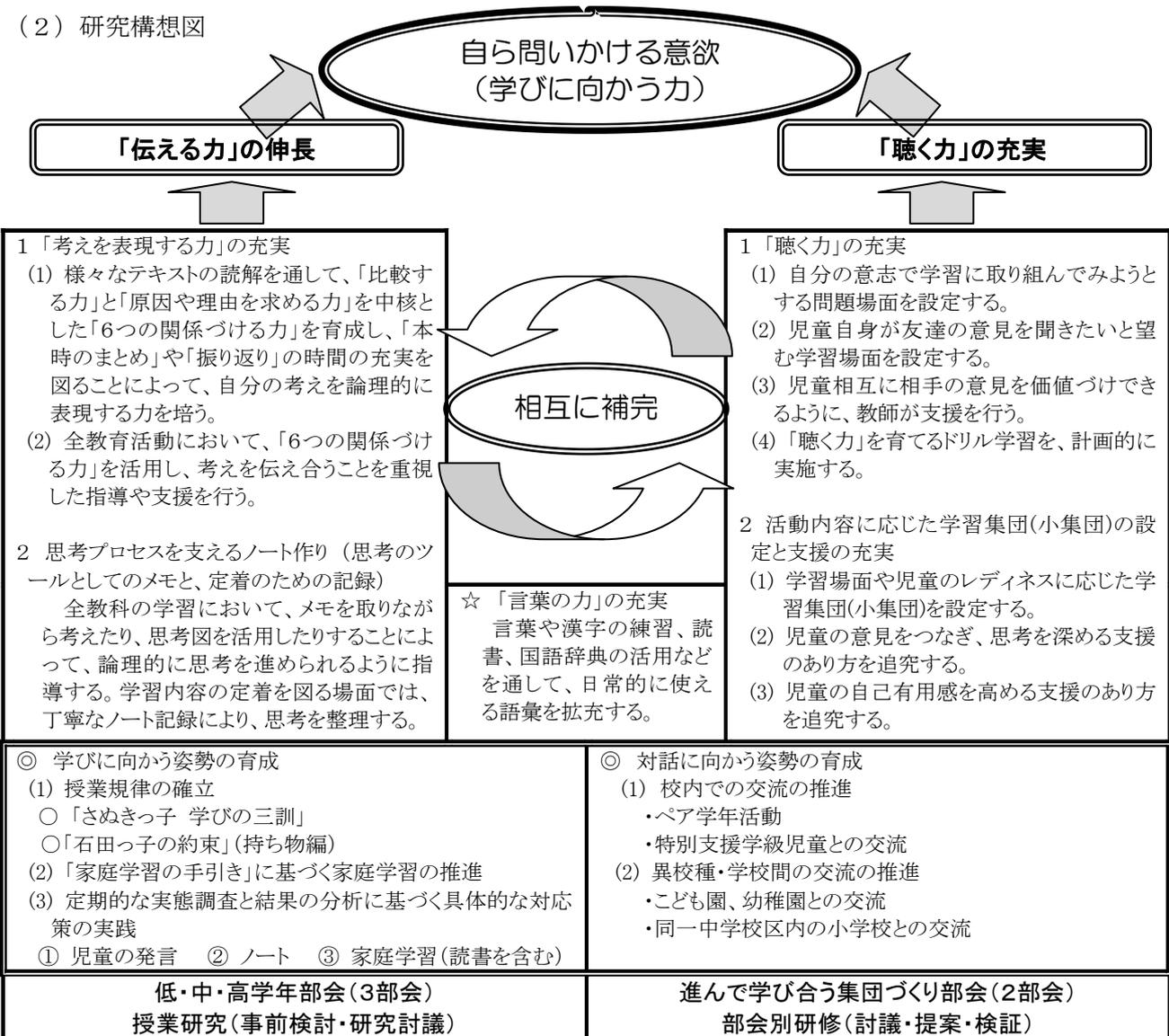
研究仮説1（「伝える力」の伸長により、「自ら問いかける意欲」を育成）

学習活動の場において、『考えを表現する力』の充実や『思考プロセスを支えるノート作り』、『言葉の力』の充実を具現化するための教材や指導方法の工夫を図れば、児童の「伝える力」が伸長し、学習課題に「自ら問いかける意欲」を育てることができる考える。

研究仮説2（「聴く力」の充実により、「自ら問いかける意欲」を育成）

全教育活動の場において、『聴く力』の充実や『学びの深まりや広がり』、『協働化』、『自己有用感』、『共感的に応答する態度』を向上させる指導方法の工夫を図れば、「進んで学び合う集団」が育ち、周りの人々に「自ら問いかける意欲」を高めることができる考える。

(2) 研究構想図



Ⅲ 成果の評価計画（検証方法）

- ① 授業研究を通して、児童がどう高まり、どう変容したかについて「成果と課題」を明らかにする。
- ② 定期的の実態調査と結果の分析を行い、具体的な対応策を検討する。
 - ア 児童の発言
 - イ 児童のノート
 - ウ 家庭学習（読書を含む）状況
- ③ 香川県学習状況調査の結果を分析して成果と課題を明確にし、以降の取り組みの方針を決定する。
- ④ 「心の交流事業」のアンケート結果を分析して成果と課題を明確にし、以降の取り組みの方針を決定する。
- ⑤ 「研究成果の参考とする10の指標」を活用した評価を行う。

Ⅳ 研究成果の普及方法

- ① 本校ホームページや学校だより、学年だよりなどで、学習活動の様子や研究成果を随時知らせる。
- ② 授業研究の折、指導者を招聘し、研究についての指導や意見をいただき、今後の改善策を考え、実践に生かす。
- ③ 授業参観や学校訪問の機会に、本研究に関わる授業を公開して、保護者や教育委員会関係者の方々から研究の取り組みについて意見や感想をいただく。
- ④ 「香川の教育づくり発表会」で成果と課題を発表し、意見をいただき、今後に生かす。
- ⑤ 「研究のまとめ」を作成し、配布する。